

授業概要

本講義では、中学校社会科及び高等学校公民科教育に関する理論的・実践的な課題について検討し、それを踏まえて自らの社会科・公民教育の教育観・授業観（理想の社会像や市民像）を再構成することを目的として講義する。具体的には、社会科と公民教育、道徳教育との関係性、学習指導要領と公民教育との関連性、様々な社会科授業観や授業設計の具体について検討し、自らの社会科・公民教育の教育観・授業観（理想の社会像や市民像）を再構成していく。作業課題として、新聞記事を教材化して発表し、ブックレポートを執筆していく。

社会科・公民教育では、構想したい社会像や育てたい市民像（公的資質）が問われることになる。本講義を通して、そのイメージがより多くの人々を包摂する社会やその担い手となる市民となることを願いたい。

授業計画

第 1 回	社会科と公民教育——あなたの理想の社会や市民とは？（ふりかえり①）
第 2 回	公民教育と道徳教育の関係性——戦前・戦後の国民・市民形成の歴史
第 3 回	学習指導要領の変遷と社会科授業——制度学習の限界性
第 4 回	社会科新聞教材の発表①発表のストーリー・問いの構成；ICT 機器の活用
第 5 回	社会科新聞教材の発表②授業実践と省察・協議会の作法
第 6 回	さまざまな社会科授業のカタチ①——「議論」学習のつくり方
第 7 回	さまざまな社会科授業のカタチ②——「合意形成」と留保条件
第 8 回	社会科教材研究・授業づくりと博物館・美術館との連携 ※学外施設調査予定
第 9 回	シミュレーション学習①市民性教育としての防災教育
第 10 回	シミュレーション学習②市民性教育としての国際経済
第 11 回	シミュレーション学習③市民性教育としての多文化共生
第 12 回	地域・社会問題学習としての授業プランの構想①学習指導案の構成と学習評価
第 13 回	地域・社会問題学習としての授業プランの構想②社会的な見方・考え方とその活用
第 14 回	地域・社会問題学習としての授業プランの発表①教材作成と社会科・公民科教師の役割
第 15 回	地域・社会問題学習としての授業プランの発表②社会像・市民像の再構成（ふりかえり②）
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・公民教育やカリキュラムの歴史的な変遷を踏まえて、その社会像や市民像について説明することができる。
- ・公民教育に関する理論的・実践的な課題の検討を踏まえて、自らの社会科・公民教育の教育観・授業観（理想の社会像と市民像）を構成し、説明することができる。
- ・特定の条件下で、公民教材を発掘し、他者にわかりやすく発表することができる。

履修上の注意

本講義は、中学校社会科及び高等学校公民科に関する教育法です。なお、教材発掘や単元プランの構想など、授業の時間外での調査や学外施設での調査があることも考慮しておいてください。

予習・復習

講義の中で紹介する関連文献や論文を読み、また生徒が関心をもちそうな教材を発見・紹介しながら、見識を深めることを期待します。また、ブックレポート課題の詳細については、授業の中で示します。

評価方法

- ・筆記試験：40%
- ・ブックレポート、教材研究／授業プラン発表：30%
- ・各回の活動・議論、ふりかえりシート：30%

テキスト

テキスト：文部科学省（2018）『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 社会編』東洋館出版社。
 文部科学省（2019）『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 公民編』東京書籍。
 参考文献：荒井正剛（2022）『中等教育社会科教師の専門性育成』学文社。
 渡部竜也（2024）『大学の先生と学ぶ はじめての公共』KADOKAWA。
 ダイアナ・E・ヘス（2021）『教室における政治的中立性——論争問題を扱うために』春風社。
 ジェームズ・P・シェーバー他（2019）『ハーバード法理学アプローチ——高校生に論争問題を教える』東信堂。
 社会認識教育学会（2020）『中学校社会科教育・高等学校公民科教育』学術図書出版社。